

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	441	4年	後期	臨床検査学科	必修	検査管理学 Laboratory Management and Quality Control	30	2
担当教員								
祇園 由佳	西宮 達也*							
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
<input type="radio"/>	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
医療を取り巻く環境の変化、さらに我が国の医療形態の変化や、医療組織における臨床検査部の位置づけ、およびその在り方について学ぶ。また、検査部の業務・人事・物品・機器などの管理および安全管理、廃棄物の管理、検査成績の信頼性を保証するための精度管理（内部精度管理法、外部精度管理法など）について学ぶ。さらに、臨床検査技師に必要な法令についても学ぶ。								
到達目標（授業目標）								
①臨床検査の管理・運営に必要な事項を説明できる。								
②臨床検査室全体の管理体制を構築するために必要な幅広い知識、および信頼性のある検査成績を提供するために必要な知識を身につける。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	臨床検査技師の役割と使命：臨床検査技師教育の変遷、臨床検査の重要性と業務拡大（担当：祇園由佳）							
2回	医療状況の変化と臨床検査管理の概念：医療形態の変化、疾病予防のための健康診断の役割（担当：祇園由佳）							
3回	臨床検査部門の業務と管理（1）：検査体制、臨床検査部門の組織（担当：西宮達也）							
4回	臨床検査部門の業務と管理（2）：臨床検査部門の業務、検査業務管理（マニュアル、検査結果の管理、人事管理）（担当：西宮達也）							

5回	臨床検査部門の業務と管理（3）：検査機器・物品管理、情報管理（個人情報保護）、財務管理（収入と支出）（担当：西宮達也）
6回	検査の安全管理と倫理（1）：医療安全（医療事故と医療過誤、インシデント、患者と検体の確認）（担当：西宮達也）
7回	検査の安全管理と倫理（2）：感染対策（標準・感染経路別予防策、針刺し事故と予防策）、安全衛生管理（担当：西宮達也）
8回	検査の安全管理と倫理（3）：検査の倫理（倫理規定、インフォームドコンセント、患者への接遇）（担当：西宮達也）
9回	検体の取り扱いと保存：血液・尿・喀痰・遺伝子・その他体液等の取り扱いと保存（担当：祇園由佳）
10回	検体の受付・前処理・結果報告：院内の検体受付、血液・尿・喀痰・遺伝子・その他体液等の前処理の重要性、結果報告手順（担当：祇園由佳）
11回	精度管理（1）：精度管理の考え方、精度保証体系、測定誤差の種類（担当：祇園由佳）
12回	精度管理（2）：精度管理法の分類、精度管理試料、内部・外部精度管理（担当：祇園由佳）
13回	精度管理（3）：単位、標準化、品質保証（担当：祇園由佳）
14回	検査情報の信頼性評価（1）：技術評価、検査結果の評価および活用（担当：祇園由佳）
15回	検査情報の信頼性評価（2）：外部精度評価と認証制度について（担当：祇園由佳）
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

筆記試験により評価する。筆記試験の配点比率は、祇園70%、西宮30%とする。トータル60点以上を合格とする。

教科書	高木康・三村邦裕「最新 臨床検査学講座 検査総合管理学」（医歯薬出版）に加えて、適宜、資料を配布する。
参考図書等	「最新 臨床検査学講座 一般検査学」（医歯薬出版）

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

小テストを実施する場合がありますので、復習は必ず行うこと。

関連科目

前科目	414	臨床検査総論	440	臨床検査学概論	443	医療情報学				
後科目										

実務家教員

臨床検査技師（医療機関）	祇園 由佳	西宮 達也*							

備考	
----	--